

広島広報2015-026

2015年7月6日

『運転を見直して交通安全』

シニアドライバースクール開催報告

一般社団法人 日本自動車連盟(JAF)広島支部(支部長 前 泰弘)は、7月5日(日)に、50歳以上のドライバーを対象とした実技型交通安全講習会「シニアドライバースクール」を、日本自動車工業会、全日本交通安全協会との共催により、開催いたしました。

この講習会は「自分の運転技量、車両の特性の再認識」を通じて、今後の交通安全に役立てて頂くことを目的として、毎年開催しているものです。

当日は、県内から集まっていたいただいた53歳から83歳の男女16名が受講されました。「県内の高齢者による交通事故の傾向」や「夜間外出時の反射材携行」などの座学講義を受けた後、「正しい運転姿勢」「車の死角」「スラローム走行」「反応ブレーキ」「見通しの悪い交差点の通過」「安全な右折方法」と言った運転を実際に行い、普段されている運転方法との違いについて学んでいただきました。

参加者の方からは、「自分の曖昧な運転が分かり再確認できた」「加齢による反応速度の低下に注意する意味が理解できた」などの感想をいただきました。

JAF広島支部では、この講習会等を通じ、県内の高齢者による事故減少につながる交通安全啓発活動を行ってまいります。

記

開催日時：2015年7月5日(日) 12:30～16:30

開催場所：広島モータースクール(広島市西区山田町30番地)

対 象：50歳以上のドライバー

参加人数：16名(53歳から83歳の方々)

内 容：①正しい運転姿勢 ②車の死角 ③エアバッグ作動実験
④スラローム走行 ⑤フルブレーキの実践
⑥交差点での安全な右折方法など

共 催：日本自動車工業会・全日本交通安全協会

後 援：国土交通省・警察庁・広島県・広島県警察・広島県交通安全協会



このリリースへの問い合わせは以下までお願いします。
一般社団法人 日本自動車連盟 広島支部事業課
Tel : 082(272)9967 Fax : 082(272)0324